



令和2年12月17日

妊産婦の自殺や子どもの虐待を防ぐために
「妊産婦のメンタルヘルス」研修会
「産後うつ等の早期発見・対応に向けて」を開催
COVID-19 拡大に伴う新たな妊産婦の課題も議論

2011年から始まった社会的ハイリスク妊産婦への支援システム「岡山モデル」も10年を迎え、全国的に見られる虐待通告・相談事例の増加傾向とは異なり、岡山県では抑制傾向が見られています。その「妊娠中からの気になる母子支援」連絡票での連絡事例にもCOVID-19拡大に伴い変化が見られています。

今回のセミナーでは、COVID-19拡大と妊産婦の課題、虐待リスクのある妊婦からSOS事例の課題を議論します。

2018年から岡山県では、産後2週間、1か月の「産婦健診」が始まりました。この中で、妊産婦の自殺や子どもの虐待を防ぐためには、医療・保健・福祉機関など複数の職種のスタッフが連携し、メンタルヘルスの課題を持つ母親への支援が必要です。出産後の「エジンバラ産後うつ病質問票」など3つの質問紙の使った支援の方法などを解説し、模擬ケースを検討します。

1. 名称 : 「妊産婦のメンタルヘルス」研修会
産後うつ等の早期発見・対応に向けて
2. 日時 : 2021年1月22日(金) 18:00~20:00 (オンライン開催)
3. 対象者 : 産科・精神科・小児科医療機関の医師、助産師、看護師、保健師、
精神保健福祉士等の医療従事者および保健福祉行政職員、医療系学生、
その他、関係者を対象
4. 申込方法 : メール(josan@cc.okayama-u.ac.jp)に、お名前、ご連絡先、ご所属を本文に明記
してお送りください。締め切り: 1月21日(木) 15時まで 厳守
※アドバンス助産師の更新申請に必要な参加証(ウィメンズヘルスケア研修)
ご希望の方は、申込のメールに「アドバンス助産師参加証希望」とお書き添
えください。
5. 参加費用 : 無料

<お問い合わせ>

岡山大学 大学院保健学研究科

教授 中塚 幹也

(電話番号) 086-235-6538

(FAX番号) 086-235-6538

